

# No. 1124

## 夏休みの一日

—富士・河口湖—

真夏のうだるような暑さの中で、涼を求め山や湖はどこも満員。富士のふもと河口湖も連日、家族連れで大にぎわい。自然の中で夏の日を過そうと、ここ森林公園にも多勢の家族連れが訪れた。はなし飼いの鳥や小動物に囲まれて子供達もうれしそう。人気者のチンパンジーナミちゃんも愛きょうをふりまいて子供達は大笑い。

かぶと虫独りも行なわれています。デパートで売っているかぶと虫しか知らない都会の子供達。

木の根っこを掘り返したり、どこにいるんだろうと探すものの……。親も真剣。岩をどけたりの大奮闘。立派な角をもった雄は木に登っていると聞くと木をゆすったり果ては木にのぼりあたりをキョロキョロ。

とったかぶと虫にマッチを引っ張らせ、即席のかぶと虫レース。尻をつっついて早くいけスイカまで。夕方ともなれば湖畔にボートを浮かべて夕涼み。夜は夜で花火大会に時を忘れ……。夏休みの富士・河口湖での一日です。

## 友好と親善

第9回オイスカ・デー

発展途上国の開発協力として、日本への研修生受け入れ、技術専門家の派遣、友好親善の強化につとめているオイスカの第9回オイスカ・デー中央式典が7月23日、岐阜市で開かれました。

式典には常陸宮ご夫妻らインド・スリランカ、フィリピンなど東南アジアを中心に16ヶ国の海外代表約1000人が参加、農業開発をはじめ、国際協力への積極的行動を宣言しました。

常陸宮さまは「国境を越えてオイスカが今後ますます発展することを祈る」と挨拶されました。翌24日からは会場を名古屋市内に移し、農業や食糧問題を中心に国際会議が開かれました。一行は忙しいスケジュールの合間をぬって熱田神宮を見学、インドから伝わったといわれるめずらしい舞楽に旅の疲れをいやしました。

最終日の26日、西尾市でアジア農業開発まつりが開かれ「自然と人類の調和をめざし、新しい開発に向けて積極的に行動を呼びかけよう」と約束、会場のあちこちになごやかな懇談の輪が広がっていました。